

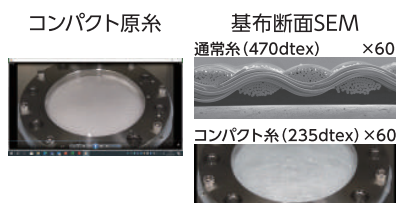
レオナ™繊維(ナイロン66繊維)と エアバッグ用基布・縫製技術

開発中
量産中

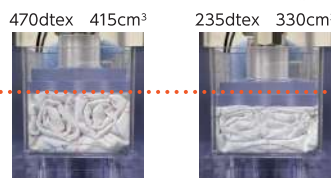
エアバッグの低パッケージ化や サステナブル社会の実現に貢献

ユーザーメリット

▶ コンパクト原糸(基布)



エアバッグにした時の効果 500N加圧時

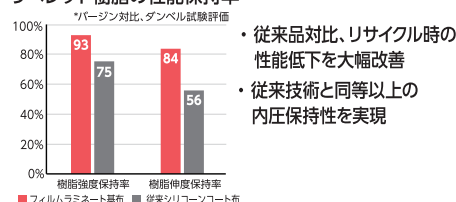


収納体積を約20%低減可能

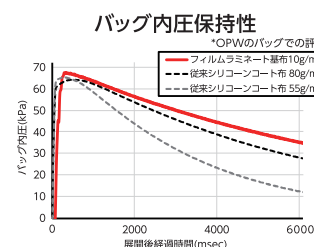
▶ フィルムラミネート基布

従来のシリコンコート布に代わる
低GHG排出&リサイクル容易な基布

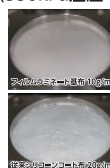
リペレット樹脂の性能保持率



- ・従来品対比、リサイクル時の性能低下を大幅改善
- ・従来技術と同等以上の内圧保持性を実現

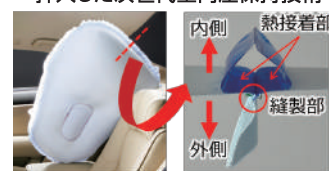


基布表面の
エア漏れの様子
(350kPa差圧下)



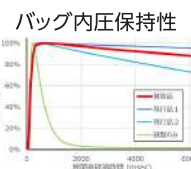
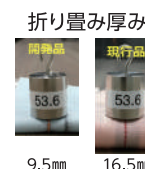
▶ 縫製フィルム

縫製部にループ状フィルムを
挿入した次世代型内圧保持技術



内圧保持バッグとして類を見ない低パッケージ化を実現

- ・折り畳み厚みを40%削減
- ・現行品同等の長時間内圧保持性



お客様からの声

- ▶ 原糸、基布、縫製品の製品チェーンのそれぞれに独自技術があり、提案力に優れていると思う
- ▶ コンパクト原糸基布で、エアバッグの大型化に対応できた。次世代の複雑形状のエアバッグ対応でも期待
- ▶ シリコンコート剤のGHG原単位が大きく、フィルムを活用した代替技術開発に期待している

採用実績

- ▶ コンパクト原糸基布：
歩行者エアバッグに採用実績あり
(2019年～現在)

その他製品情報

競争優位性	原糸、基布、縫製からの一貫開発、供給安定性
サステナビリティ	コンパクト・軽量での燃費改善(レギュラー対比30%重量減) シリコンコート剤代替技術による内圧保持性付与でのCFP削減
背反懸念事項	独自性の高い開発のため、コストUP、バッグの設計変更、 新たにビジネスモデルの構築をしていく必要があることが懸念